

〔 一般教養科 〕

〔 区 分 A 〕

野田 善弘

学生・教職員のメンタルヘルス意識向上に関する取組

守屋優子*1、野田善弘*2、安里光裕*3

*1 社会医療法人石川記念会 HITO 病院、*2 新居浜工業高等専門学校一般教養科、

*3 新居浜工業高等専門学校数理科

新居浜工業高等専門学校紀要第 52 巻、pp1-6、(2016.1)

本稿は、平成 22 年度から 25 年度までの新居浜工業高等専門学校学生相談室のメンタルヘルスに関する取組について論じたものである。

平成 23 年度以降、学外カウンセラーや若者サポートステーションを学生が積極的に利用し始めた背景としては、学生相談室が学生・教職員のメンタルヘルス意識を向上させる取組を積極的に行ったこととともに、非常勤看護師の雇用による常勤看護師の学生相談への積極的参入が可能となったことが挙げられる。

心の専門家と教職員が協働・連携して学生を支えていくことこそ、自殺予防などの難題を解決する要諦であることを最後に示した。

佐伯 徳哉

島根県浜田市三隅歴史民俗資料館寄託〔三隅二宮神社文書〕中世分の翻刻と紹介

佐伯徳哉*1 目次謙一*2 中司健一*3 西田友広*4

*1 新居浜工業高等専門学校一般教養科 *2 島根県教育庁文化財課古代文化センター

*3 益田市教育委員会 *4 東京大学史料編纂所

東京大学史料編纂所 研究紀要 第 26 号 2016 年 3 月

東京大学史料編纂所一般共同研究事業の成果の一環として、島根県浜田市三隅町の二宮神社所蔵の当地中世領主三隅氏関係古文書を調査した成果を公表したもの。三隅氏は、石見国在庁御神本氏の系譜をひく大領主であったが、16 世紀半ばに毛利氏により滅ぼされその実像はおよそ不明であった。本文書の内容が明らかになったことにより、石見中部の主要な領主の実像の一端が明らかになった。

塚本 亜美

‘English picture-book reading to children coupled with English extensive reading.’

平野雅嗣、西井靖博、塚本亜美

The 9th International Symposium on Advances in Technology Education 16-18 September 2015, Nagaoka, JAPAN 発表 pp. 546-547 2015 年 9 月 16 日

Purpose: In recent years, a growing number of Japanese colleges and universities have been introducing extensive reading programs into their English language education. The Ministry of Education, Sports, Science, Culture, and Technology publicized the “English Education Reform Plan corresponding to Globalization” in 2013 and displayed its determination to promote the establishment of an educational environment corresponding to globalization from the elementary to

lower and upper secondary education stages. The author introduces off-campus class conducted in elementary school by reading English picture-books.

〔 区 分 C 〕

芥川 祐征

占領下日本の学校経営論における校長職の理論的特徴 (1)

－「民主的解放的な経営論」の受容過程にみられる資質能力と職務内容－

芥川祐征*

* 新居浜工業高等専門学校一般教養科

新居浜工業高等専門学校紀要、第52巻、31-40頁、平成28年1月

本稿では、占領下日本の「民主的解放的」学校経営論の受容過程にみられる校長職の特徴を、資質能力・職務内容という視点から分析した。従来の学校経営研究では、戦前・戦中と戦後の断絶性ばかりが強調されてきたが、本研究によって連続性が明らかになった。すなわち、占領初期の段階において戦後の校長職に関する研究はみられ、それらを基盤としながらもアメリカ学校経営論の受容によって再整理され、理論的に形成されていった。

〔 区 分 D 〕

伊藤 直子

第39回高専ドイツ語教員ゼミナール報告

伊藤直子*

* 新居浜工業高等専門学校一般教養科

ドイツ語教育 20 (日本独文学会ドイツ語教育部会)、pp90-94、(2016.3)

毎年春に高等専門学校でドイツ語を教える教員を主な対象として、教授法やドイツに関する様々な情報を得るための高専ドイツ語教員ゼミナール(日本独文学会ドイツ語教育部会とGoethe-Institut Tokyoとの共催)が開催されている。2015年は、第39回のゼミナールが5月28日(木)と29日(金)に東京ドイツ文化センター(東京都港区赤坂)に於いて行われ、ドイツの地域理解(マールブルクについて)、音声学を授業に取り入れるための教材紹介と授業への導入方法、ドイツにおける理数系分野に関する取り組みについての紹介と意見交換という3つのプログラムが実施された。本稿では、ゼミナールで実施されたプログラムの概要を報告した。

〔 区 分 E 〕

佐伯 徳哉

絵図から見た門前町杵築の発展

佐伯徳哉

新居浜工業高等専門学校一般教養科

公益財団法人 いづも財団 公開講座 第Ⅲ期

平成27年6月13日(土) 於: 島根県立古代出雲歴史博物館

門前町といえば通常、戦国時代以降の民衆経済の発展にともない参詣地として娯楽的要素を伴いながら

成立発展してきたものとされる。しかし本講演では、鎌倉時代の出雲大社ならびに近隣の絵図や関係古文書を素材に、すでに鎌倉時代には、神社の恒例神事や長期間にわたる神社造営のために人々が集まることを契機として、神社周辺に都市的集落が形成され宗教的機能も果たされたことを述べた。

伊藤 直子

授業外活動を利用した高専生のドイツ語表現力向上の取り組み

伊藤直子*、柴田育子*

* 新居浜工業高等専門学校一般教養科、* 木更津工業高等専門学校人文学系

高専ドイツ語教育研究発表会 (2015. 5)

授業時間内の学習だけでドイツ語表現力、すなわち書く力および話す力を向上させることは難しく、授業時間外においてもドイツ語に触れ、学ぶ必要があることは言うまでもない。これらの力を向上させるために、木更津高専と新居浜高専では授業外で行われるさまざまな活動を学生に紹介し、活動に参加する学生のサポートをドイツ語教員が試行錯誤しながら行っている。本発表では、両校の学生が参加している活動のうち、木更津高専の書く力を向上させる取り組み（学生新聞への投稿や作成、学生自身がスキットを作成して作品を作り上げるビデオプロジェクト）、そして、新居浜高専の書く力を向上させる取り組み（学生新聞への投稿）および口頭での表現力を向上させるため取り組み（暗唱大会への参加）を取り上げ、授業外で実際に行っている活動の内容とサポート方法、活動が学生や授業にもたらす効果と問題、今後の課題等について発表を行った。

伊藤 直子

ドイツ語の歌

伊藤直子*

* 新居浜工業高等専門学校一般教養科

生涯学習大学・新居浜高専市民講座、(2015. 10)

本講演では、まず、日本語とドイツ語の音素の違い、一つのまとまりと認識される単位の違い、アクセントの違いなど、音声学的・音韻論的な観点から、日本語とドイツ語の違いについて講義を行った。講演の後半では、講義によって得られた知識を踏まえ、ドイツ語らしい音を作り出す練習として、ドイツ語の歌をドイツ語で歌うワークショップを実施した。ワークショップでは、「かつこう」「ちょうちょ」「ぶんぶん」「きよしこの夜」という日本でも親しまれている曲を取り上げた。これらの曲のドイツ語の歌詞からは、ドイツに根付く社会習慣あるいはドイツ語圏の季節感等を感じることができるとともに、歌詞の意味の概説を通じ、日本とは異なるドイツ語圏の文化や習慣、四季などを紹介した。